バイオガスプラントを核とした“鹿追型ゼロカーボンシティ”実現へのロードマップ（素案）

2020

現　状

現在のおおよそのco2排出量（t-co2/年）

50,000

↑

その他、技術革新（led,ｴｺｶｰ,断熱等）などによる削減

1,335

↑

住宅用太陽光発電助成事業による削減量

553

↑

自営線ネットワーク事業による削減量

363

↑

瓜幕バイオガスプラントによる削減量

3,185

↑

環境保全センターによる削減量

1,274

↑

新エネビジョンによるco2排出量（t-co2/年）推計

56,710

Player	2021～2030 STEP1 △10,000（t-co2/年）	2031～2040 STEP2 △15,000（t-co2/年）	2041～2049 STEP3 △25,000（t-co2/年）
鹿追町 鹿追×鹿島 （スマートソサエティ）	（仮称）鹿追町ゼロカーボンシティ推進戦略（PDCA運用）		
	脱炭素型公共交通 （路線見直し、ﾊﾞｲｵｶﾞｽ車等導入）	脱炭素型公共交通 「自動運転によるデマンド型」+「EV」等	鹿追型脱炭素公共交通 「バイオガス」+「EV」+「水素」
	BGP熱有効活用展開 （公共施設暖房代替試行等） （中鹿BGP2028年卒fit ）	熱・再生可能エネルギーを活用したZEB（新設、改修） （瓜幕BGP2035年卒fit）	鹿追型ZEB（全域展開） 「電気」+「熱」+「水素」 （笹川BGP 2048年頃卒fit）
	「水素」利活用実証　→　順次実装		「水素」本格普及
	3基目 笹川BGP	4基目 BGP	
	地域エネルギー会社（BGP電力、熱、水素の域内利用の拡大） 《収益の一部をゼロカーボン支援（町民）・適宜エネルギー源の確保》		
	幼少中高一環教育による「環境教育」の推進		
町民	地域新電力会社の電気を消費 太陽光発電導入 太陽光発電+蓄電池の導入（補助） 新設住宅のZEH導入（補助） 自家消費型EVの導入（補助）		鹿追型ZEH（全域展開） 水素車の導入
	脱炭素にコミットするライフスタイル　「COOL　CHOICE」の実践		
賛同、協働者	脱炭素投資（ふるさと納税、CF等）・新たなパートナーシップ連携（企業誘致等）		
国・北海道	ヒト・モノ・カネ・コト（制度など）の支援		

2050

ZERO CARBON CITY SHIKAOI